教員名	高﨑　みどり　(TAKASAKI Midori)
所　属	文教育学部言語文化学科日本語・日本文学講座
学　位	文学修士
職　名	教授
URL／E-mail	takasaki@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

文章論　／　レトリック　／　表現　／　談話　／　ジェンダー

◆主要業績　　総数（2）件

・『文体論研究書誌』「日本語」セクションを佐藤嗣男（明大教授）・立川和美（流経大講師）と担当、学会誌『文体論研究　特別号』（日本文体論学会　2005 年９月）として発刊。
・「日本語研究とジェンダー―規範としてではなく、構築される現象としての”言葉”」お茶の水女子大学ＣＯＥプログラム「日本文学におけるジェンダー表象」第６回研究会　発表（2005 年 6 月 18 日）

◆研究内容

現代日本語の文章・談話分析を中心に研究しています。文章・談話という最大の言語単位を対象に、その成立要因、展開や構造、あるいは表現・文体といった個別的個性的な様相等を、具体的な言語データを基に分析しています。また、ディスコース分析からの自然な帰結としてジェンダーとテクストの関係にも興味を持っています。
2005 年度でいえば 2005 年３月に、海外学会発表１件、論文２本（明治書院、お茶大国語国文学会）が集中して出ており、４月以降は、科研費補助金（研究成果公開促進費）獲得のための研究会を毎月重ねた。その結果、１８年度交付決定（１３０万円、課題番号１８５０８２　「日本語随筆テクストの諸相」）を得たが、結果として 2005 年度はその準備に忙殺された。また、研究のシステム化の一環として、文体論関係書誌・日本語セクションを担当（『文体論研究』特別号　2005 年９月）したことでも時間をとられたが、所収すべき論文の選定などで、多くの論文にあたり、今後の自分の研究方向の参考となった。

◆教育内容

現代日本語学全般の必須知識の伝達を心がけて、講義内容を組んでいます。
演習やゼミは、自分の専門分野である現代日本語の文章論や談話論を具体的な材料を使って分析をする内容です。
講義、演習、ゼミ共学生の興味、関心、知識に応じてフレキシブルに内容を用意するように心がけています。

◆Reseach Pursuits

I study the sentence and conversation of modern Japanese mainly.
In concrete terms, I analyse the practical data and prove the cause of its construction and development.
Besides, I'm interested in the connection between texts and gender.

◆Educational Pursuits

In my classes, students learn the necessary knowledge of modern Japanese.
In my seminar, they learn the way to analyse the text and discourse with the practical data.
We can discuss many theme flexibly.

◆共同研究例

・職場のことばの性差分析（2000）
・日本の随筆テクストの分析（2005）

◆将来の研究計画・研究の展望

新しいメディア（メール、ブログ、チャット等）を文章論、談話論の角度から分析し、日本語学として位置づけることを目指しています。
また、ジェンダーやセクシュアリティの現代日本社会における様相が、ことばの面にどう反映しているかについての調査・研究にも意欲をもって取り組みたいと考えています。

◆共同研究可能テーマ・今後実用化したいテーマ

・新メディアと旧メディアの対比
・テクスト分析
・ジェンダー論

◆受験生等へのメッセージ

大学院受験生へ
現代日本語についての文章談話分析に興味を持っている方は、ぜひ受験なさってください。
お待ちしています！